

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。今月は小松総合支所から「小松町ふるさと祭り」について紹介します。

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地
TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

22年間踊り継がれる小松音頭

小松町ふるさと祭り

ヨイトコ ヨイトコ 伊予の小松へ はよおいで〜♪

今年も、夏恒例のイベント

「小松町ふるさと祭り」が8月1日・2日に行われました。今年から住民主体の新しい実行委員会による運営も始まり、新しくそうめん流しが企画されたり、さらには十数年ぶりに復活した近藤篤山先生の仮装などに、多くの人が集まり賑わいを見せました。この夏祭りでは、メインとなっているのが小松音頭です。

今年も小松駅前通りに多くの観客が集まる中、約20の踊り連の約500人もの人たちが小松音頭を踊りました。

■小松音頭誕生

小松音頭は、21世紀への新しいまちづくりをめざして、みんなで歌い踊れる、明るく軽快で、歴史と文化のまちにふさわしい町民音頭をという思いから、昭和63年に誕生しました。

一般公募した歌詞には、横峰寺や中央公園、篤山邸などの名所・旧跡、椿やボタン、石鎚山などの自然と小松の魅力が盛り込まれています。

■小松音頭を踊り続けて

ふるさと祭り前には、小松音頭の踊りの練習会があります。そこで毎年指導をしているのが三原貞子（芸名・藤間伊千弥）さんです。三原さんは、ふるさと祭りの前身である商工まつりの頃から、盆踊りやトンカカハンの指導をし

ており、小松音頭の指導もずっと続けています。その三原さんにお話を伺いました。

「小松音頭には、いろいろな思い出があります。大阪から来た振付師の先生から踊りを教わり、発表会で披露したのが始まりで、それから毎年ふるさと祭りで小松音頭を踊っています。10年くらい前には振り付けの一部をアレンジして踊りやすくなりましたが、それ以外はほぼオリジナルのままです。

ふるさと祭りでは、踊り連ごとに特色ある衣装や振り付けをしています。例えば、食生活改善推進協議会の皆さんはエプロンに三角巾でしゃもじを持って踊ったり、ほかに独自の振り付けでカスターネットを鳴らしながら踊ったり、うちわや花をそろえたりしている連もあります。そういうところを見ても楽しいですね。一番うれしかったのは平成16年のふるさと祭りに、小松

音頭を歌った歌手の嶺よう子さんがいらしゃったときに、『こんなに長く踊り続けているのは珍しい』と、とても喜んでくださったことです。今まで踊り継がれてきたのは、みんなの力があってこそなので、今後も地域住民みんなで盛り上げて残していきたいですね」と、笑顔で話してくれました。

誕生から22年間踊り続けられる小松音頭。小松の魅力がいっぱい詰まった小松音頭を、今後も踊り継いでいくために、来年は皆さんも一緒に踊ってみませんか。



◀練習会で指導に当たる三原さん(中央)